

コンプライアンス研修 5（生徒指導・体罰防止）

生徒指導・体罰における確認事項

- ①法的根拠の確認
- ②生徒指導については、教育的に配慮して冷静に対応するよう心がける。
- ③教職員が互いに体罰について注意したり、管理職への報告をしたりできる環境づくり。
- ④日頃からの生徒理解とカウンセリングマインド
- ⑤身体的な体罰に加え、心的にも配慮のある言動を心がける。
- ⑥生徒指導する場所、タイミングに配慮する。
- ⑦生徒のミス、失敗を生徒だけの責任にせず、指導の在り方も顧みる。
- ⑧生徒指導の進め方についての国や県の指針を理解し、研修等を通して指導の在り方を身に付ける。
- ⑨生徒指導は、指導方針・指導方法の共通理解を図り、全教職員が一致協力して取り組む。